京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

東京市京橋區南佐柄木町七番地　東京支局
仁川支局
發行所　京城新報社

群山俄道中記

レ便

六月十日　山靈水神生

臨益水利組合長　藤井寬太郞氏の談

前に述べた通り古代水利の廢跡利用策に就ては、去る明治三十八年の夏既に腹案が出來たが、未だ統監府設置以前に屬し一個人の微力到底此大事業を成す能はざるを以て、徒らに理想を抱きて將來を夢みるの外はなかつたが、四十年五月會々事を以て前韓國財務顧問目賀田男爵に面謁した時、目賀田顧問より每年鉅額の本邦より朝鮮に輸入せらるゝもの頗る多額なるを見るが、かくて何時までも其供給を日本に俟つの愚を爲さんより、朝鮮に於て之が耕作を爲さば可なるべしとの意を以て種々の諮問を受けたる際、予は先づ水利よりも始め米穀の改良を策し、今日の如き[illegible]氏の意を聞出するに非れば、自然[illegible]の目的をも達する能はざる實情を述べ、水利設備に關する平素の抱懷を述べたのが、目賀田顧問の水利設備に對する平素の注意を更に一層深からしむる幾分の動機となりたるもの〻如く同年間もなく五萬圓の水利調査費を支出せられ、專門技師を派遣して實地調査をさるゝに立ち至つた、然し乍ら之が實行の方法は容易に決定しなかつたが、四十一年秋韓國政府は度支部令を以て水利組合條例を發布し、大に水利事業の發達を期すると云ふ事になつたので、自分の計畫も聊か實行の端緖を得る事となつた、是より先自分は見を全州新報紙上を籍つて發表したが當時恰もよし農學士三浦直次郞氏勸業模範場群山出張所長として在任され其該博なる智識、專門の學理を應用して同じく熱心に全州平野の水利に就て調査計畫せられて居つたが、同氏も亦余の持說發表後其專門的眼光を以て精細に觀察調査研究せられたる全州平野の水利設備に關する意見を詳細に群山日報紙上に發表せられた、然るに同氏の立案も根本に於て殘跡利用を基礎となすの一點は、自分の持說と符節を合する如く、然も氏の專門的研究の餘に出でたる立案は、更らに適切正確にして自分は之れによつて得る處頗る多く竊かに同氏の識見に敬服したのであつた、越ゑて四十一年十月親しく余を來訪せられ、公私の爲め此際當局に其計畫の實行の衝に當らん事を勸告された自分は元淺學無識かゝる大事業の當事者として果して其任を全ふし得るや否を疑つたが、水利設備の急務にして一日も忽にすべからざるを平素痛切に感じ何等かの機會を以て其理想を現實にしたいと思つて居つた自分は、徒らに私情を挿ばさんで躊躇するの秋に非らざるを思ひ、且つは又眷劍の性と雖萬腔の熱誠を以て事に當らば、神明も亦加護せらるべきを信念し、同氏の熱心なる激勵に感奮興起して愈々之に從事するの意を決し、直ちに組合の組織に着手した、爾來工事の設計は主として氏の計畫に基きて行ひ、中途種々の故障困難も惹起り、特に四十三年七月の如き甲戌以來三十七年間未曾有の大雨に遭過し、百耗以上の豪雨三回に及び就中七月十五日拂曉の暴雨は十時間百九十二耗の多量に達して、工事現場は非常なる水害を受け、組合は多大なる損害を蒙り非常なる苦心をしたけれど、川崎理事評議員諸氏及岩本技師片桐事務長等の熱心なる活動によつて、成功を見るに至つたのは公私の爲め誠に祝福に堪へ無い次第で、殊に本水利組合の成功に就ては、故群山財務署長菅原慶助氏の熱烈なる援助は誠に感謝に堪へざる處で、併せて又關係各官衙當局官憲の指導助力は、組合の成功を全からしめた所以で是亦我々組合員の感謝に堪へない所であります。

●東京たより

◉經濟界は依然として不景氣を繼續いたし居候、隨つて株式市場の沈滯不況は餘處の見る目も哀れに候。

◉斯く人氣の引立たざるは、畢竟するに經濟上の前途を悲觀しての一種の神經作用にも依るべきか、併しそれには又それ相應の理由も原因もあることにて謂はれなきに徒らに悲觀すると見るは失當かと存ぜられ候。

◉日露戰役後俄然として膨脹し、遂然として活氣を呈したる經濟界が當然來るべき反動の時代は、夙くの昔に經過し去りたる筈なるに頽勢挽回せざるのみか尚且今日の如き衰運を呈せるは無論反動以外に別箇の理由無くてかなはぬ次第にて候。

◉現內閣が財政計畫が其方針を誤りし爲め、經濟界の受けたる打擊は即ち其の主たる一原因に數ふべきものなりと雖も、其の尤も直接の近因を求むるときは、今春以來海外貿易の大勢頗る逆調を帶び、近年になき輸入超過を現はしつゝあるが如き、即ち是れなるべく候。

◉本年一月以來の輸入超過額は已に八千五百萬圓に達し月末までには一億圓を超ゆべしと思はれ候が、こは隨分甚だしき入超にして、即ちこれだけの正貨は羽根を生じ、日本國を離れて諸外國に飛び行く譯に候へば、誰人も心細き感なきを得ざる次第にて候はずや。

◉尤も上半期の間に於て輸入超過を見るは每年の例にして、下半期に至り始めて輸出超過となり次第に取返しの付くことゝなるも亦殆ど每年の例なれば今日までの入超によりて前途を悲觀するは大早計に候へども、既往數年の實例によれば上半期の入超として其額大抵二三千万圓位に止まりて、其れ以上に及ぶことは之なかりしに、今年に限り特に其三倍以上の巨額に達したるは異數のことにして、例令下半期に於て多額の出超を見ることありとするも、果して從來の例の如く年末に出入相償ふに至るべきか、頗る疑問に有之候。

◉但し爰に一つ記臆せざるべからざるは新關稅が七月一日を以て實施されることにて候、本年上半期入超の巨額なるは即ち此新關稅の實施を見越しての一時の現象なりとすれば、之が實施期を經過したる七月以後においては、輸入貿易は頓に其額を減ずべき筈に候。而して之と同時に輸出貿易は例年の如く漸次其額を持上るに至らば、貿易上の前途は次第に順調に向ふべき道理に有之候。

◉幸ひに、此の觀察の如くならんには我國經濟界の前途は必ずしも憂ふべきに非されども、若し然らずして出超の割合に入超依然として又縱ひ入超は減少すとも出超亦甚だ減せざるかなならざるに於ては正貨は底を拂ふのみならず、日本銀行の正貨準備も亦減少せさるを得ざるべく候、斯くにては昨今景氣の引立たざるも、又前途を悲觀するものあるも強ち無理とは申されず候。

●米國鑛業團一行程（國民觀察）

四國借款は第一に滿洲實業振興費として投せらるゝこととなりたれば由來滿州に注目しつゝある米國にては今回來々滿州に於ける向後の米國鑛業の方針を究むると同時に鑛業國として有望なる朝鮮の現狀を踏査せんため北米に於ける最有力なる鑛業組合の組合員百二十餘名は[illegible]を組織し來る十一月十九日日本に着する事は既報の通なるが同一行の行程を聞くに先づ東京帝國ホテルに滯在し澁澤中野氏發起の歡迎會に臨みそれより日光に赴き足尾銅山を見て直ちに西下大阪住友藤田兩鑛山業者に就て種々調査をなし終りて別子銅山を視察し瀨戸內海の風光を賞したる後朝鮮に渡り各主要地に就て鑛業上の研究をなし安東縣より滿州に入る豫定なりと

召使れ初

第八十六回　黑法師



『暗の間に生きるよりも、明りの下に死ぬるが優でござります』

まだ十八の女ながら、斯く云ひ切りて、兩手を膝に置きたる時、可愛らしき眼の底より一道の光明赫灼たるが如く見えき。

『さらば此儘……此儘に爲せられて、運を天にお任せでござりまする喃』

『勿論の事、あなたお心付を聞かぬ昔と諦めるでござります』

『爲一お咎めあらせられたりや、あなた什麽樣お詞で辨解を爲せられます』

『異を以て辨解致す外ござりませぬ』

『おやが月も雲に掩はれることござります。異の光りも屆かぬ時あるまいに限りませぬ』

『雲は晴れるに極つてござります、異は屆くに定つたものでござります』

『この世の中があなたの樣な、滑いお心のお方ばかりでござりまするとの喃』

若江が瀞々と云ひ出でたる時、間の襖をうつと開けて、敷居越しに平伏するはお婢なり。

『旦那樣御免しでござりませ、若江樣御願ひの筋ござります』

『をゝ』と若江は身を退くやうに『お察でないか』

『察でござります』とお婢は蜘蛛の如く平伏して『お願ひの筋ござります』

『改つて何事ぢや』

お道は只悃れ顏に、お察の常ならぬ樣を見詰めたり。

『旦那樣お免しを願ひまする』

『まづ理を語らせの』と若江は一膝進ませて『什麽か不調法でも致したか』

『恐しい罪を犯したでござります』

『恐しい罪とは喃』

『海老屋德右衛門樣お文を、お奥へ持參致したは、察の所爲でござります』

實に思ひ掛けぬ詞、お道は我耳を信じ難ねる如く目を光らす。

『はて喃、異なことを云ふぢやのう』

『御存じもござりませう、海老屋德右衛門殿、私が主でござります』

『その事は聞いてもある、すると德右衛門に賴まれて、お道さま名宛の文をそなた持て參つた喃』

『主人申すこそ、辭退もならず內懷へ深く藏め、御殿へ上つたのでござります』

『その文、什麽としやつた喃』

『旦那樣お目へ掛けては、いかやうお叱りあらせられるも知れず、さればとて捨ても爲し難ね、手文庫にも容れかねて、日ごと內懷へ藏めて置いたを、昨日取り落したでござります』

『のう、それの文を……そなた遺失したとれひかの』

若江は再び膝を進む

『大罪人はこの察　旦那樣は御存じあらせられぬ事でござります、お願ひと申すは此處、若江樣お詞添へ、察をお役人衆へお引渡し遊ばして下さりませ、假へ中途に取り置きは致しても、御法度を反古にして、道ならぬ文を托つた大罪、死れる處でござりませぬ、いかやうお處置受けましても、毫れ恨みに思ふ所でござりませぬ』

お察は俯伏したるまゝなりき。



東京電報（廿四日）

●陛下の御謝電

天皇陛下には英國皇帝の戴冠式に參列の爲め渡英中なる東伏見宮依仁親王殿下に對し同國皇帝陛下よりヴィクトリヤ大十字勳章を賜はりたる旨殿下より電報ありたるにより同國皇帝陛下に御鄭重なる御謝電を發せらるゝやに拜承す

●遣英官御發期

英國皇帝戴冠式に參列の東伏見宮依仁親王同妃兩殿下は二十七日バッキンガム宮に於て開催の公式園遊會及び同夜の舞踏會に御臨席あらせられ二十八日公式の待遇を辭せられ御歸朝の途に就かせらるゝ筈なり

●師團常設經費

朝鮮に二個師團を常設せんとする經費は總額約八百萬圓及び臨時費四千萬圓を要す可しと云ふ[illegible]

●清國新官制

內閣所屬官制及び內閣法制院官制は去る二十三日上諭を以て發布せり[illegible]

●無線電信會答申

[illegible]

●河川流域監督

[illegible]

●御玩具品を賜ふ

[illegible]下に御謁終りて賢所、皇靈殿、神殿に御參拜あり御退出相成たるが兩陛下より種々なる御玩具品を賜はりたるやに拜承す

▲日獨條約調印

日獨新條約は一昨二十四日調印を終りたり尙ほ日佛條約は暫定條約となる可し

▲農省低資融通額

農商務省にて昨四十三年度耕地整理事業に關し產業組合資金として低利資金の融通を計りたる金額は一般府縣に配付したるもの三百萬圓水害地府縣に配付したるもの二百十五萬圓にして耕地整理資金として供給せられたる金額は右の內四百二萬五千九十圓又新事業資金として供給せられたるものは[illegible]

雜報

市區四百二十九件金額三百二十六萬九[illegible]償還資金として市區三十件金額七十九萬六千三十三圓なり

●道長官會議日程

[illegible]各道長官會議は[illegible]總督府會議室に於て[illegible]の下に開會す可く第一回各道長官會議は左の如し
▲第一日 七月一日午前八時政務總監各部長官遞信局長鐵道局長總督府會議室に參集す
▲第二日 同上參集 寺內總督閣下の訓示及び長官等の提出事項
▲第三日 同上參集 度支部關係事項の意見
▲第四日 同上參集 農商工部關係事項の意見
▲第五日 同上參集 司法部、臨時土地調査局、臨時測量部關係事項の意見
▲第六日 同上參集 內務部、遞信局、總務部關係事項の意見
▲第七日 同上參集

●清國新官制

[illegible]

●憲兵隊長會議

憲兵隊長會議は愈々二十七日より三日間連日午前八時より總督官邸內憲兵隊本部參考品陳列所に於て明石司令官、總長、統監の下に各部副官各憲兵隊長部長官並に國分高等法院檢事長の訓示あるが右は臨時寺內總督を始め各部長官の訓示あるべしと云ふ[illegible]

●隊長會議日程

六月二十七日 開會同十二時司令官總長訓示、午後管內情況報告、午後管內情況報告▲二十八日 管內情況報告、午前管事項打合、午後部所管事項打合、午後▲二十九日 午前同上▲三十日 午前總監部高等警察課所管事項打合、午後同上並各部長官局長講演▲二日 午後工業博習所、總監部衛生課所管事項打合せ、午後總監部警務課所管事項、午後同上並に各部長官局長講演▲三日 總監部庶務課所管事項打合、午後同上並に各部長官局長講演▲四日 總監部衛生課所管事項打合、午後總督府醫院、順天醫院、痘苗製造所、總督府醫院等參觀▲五日 司令部所管事項打合、午後も事務打合をなして閉會を告ぐる筈也と

●軍司令官歸任

臨時檢閱の爲め大邱、馬山、釜山等の各地に出張中なりし大久保軍司令官は二十六日馬山に於て柴田總裁と會見の上太田を經て同夜歸任したり

●政務總監歸任

東上中なりし山縣政務總監は二十六日午後八時十分南大門着列車にて歸任

●湖南線建設近況

湖南線は輕便工事なるを以て進捗の程度迅速なるが目今建設の狀況は太田方面にては大田連山間二十四哩六分の土工橋梁工事は概ね竣工し既に建築列車を運轉し連山江景間十三哩は土工第一は九分通り竣工せしも橋梁は尙半に過ぎず江景裡里間十七哩は五月十八日より着手したるのみにして群山支線十五哩も目下準備中なりと云ふ而して建築物は佳水院、豆溪の兩停車場既に竣工し連山停車場は四分通り出來同機關車庫は五月下旬漸く着手したり尙用地は大田連山間三十四萬五五百六十五坪を既に買收し八千坪尙未買收のものなり連山江景間は十萬六千坪買收し未買收のもの九八坪あり江景裡里及裡里群山間は既に丈量を了り買收の準備中なり又木浦方面にては木浦羅州間三十五哩八分は五月中に測量十三哩六分を了し又榮山浦羅州間三哩、內二哩一分は實測を了りたりと云ふ

●地形測量と地形圖

目下臨時土地調查局にて盛んに進捗中なる朝鮮全道の測量は我陸軍の陸地測量部に於て多年經驗したる特種の三角法によれるが此方法によりて地積測量をなし居れるも地積測量は單に土地臺帳を作るの目的なれば其圖面には土地の高低其他重要なる記入をなしあらざるを以て一般地形圖と趣を異にするものあり前年臺灣にて土地測量をなせし際は地積圖と共に地形圖を作製せしが朝鮮にては豫算の關係上單に地積圖のみに限りしは惜むべき次第なるも此地積圖を基本とし地形圖を作れば容易なれば從來我陸軍の機密圖たる五萬分一の圖より精密なるものを見るも遠きにあらざるべし

●教育會總集會

朝鮮教育會は二十四日午後七時半より商業會議所樓上に於て其總集會を開く會員百五十餘名にして始めに關屋會長より開會の辭あり次で小杉幹事長前年度に於ける會務の報告を爲し會員一同の承認を受け次に隈本商副會長の後任者として弓削幸太郎氏を撰任し了つて議事に移る。

議題

十三道中未だ小學校の設なき地の內地人學齡兒童をして就學の便を得せしめんが爲に已に學校の設ある適宜の地に兒童收容所を設け兒童の保護預りを爲すの件

發案者は關屋會長にして小杉幹事長の說明に因れば目下十三道各不便の地方に散在し小學校へ通學するの便を缺ける兒童の數を三百と見做し其中父兄の都合に因り手元を離し得ざる者を除き半數乃ち百五十名を引取り食事万端の世話をもなし通學の便を得せしめんが爲に十三道に亘つて五箇所の收容所を設け而して其費用として一ヶ年一萬圓の補助金を總督府に仰ぐと云ふにあり、幹事長の說明に對し種々の質問あり且つ對議の末會員の組織に因り結局十名の委員を擧げ實行方法其他に就いて調査研究を遂げ其上にて實行に着手することに決す。此間に時に會員十分間の休憩を宣す。會員峯岸氏は中學校二部教授問題に就いて本會が冷淡に看過すべからざる理由を述べて會員一同に諮り會員諸氏亦た各自の意見を述べ多少得るところありたり、休憩後宇佐美內務部長官の訓旨的講演及び石田視學官の自然と教育と題せる講演あり了つて教育俱樂部の餘興に移り閉會せるは午後十時半なりし

●民團の委員會

二十六日午後二時より小學校新築及び道路改修問題に關する民團委員會を開く

●砂防工事の經過

京畿道廳にて目下經營しつゝある砂防工事は既に第一期約二千五百間を竣了のたる事既報の如くなるが其後工事大に進捗して目下第二期の大半約千五百間を終了し尙殘部の第三期第四期と豫定より早く終了するならんとの事なり

●森林苗圃の成績

本春朝鮮全道に紀念殖林をなせし當時京畿管內にも各府郡をして約八十坪內外の苗圃を設けしめアカシヤ、赤松、栗、櫟等を植栽せしめしが爾來其成績非常に良好にて直營苗圃よりも好良なる結果を呈しつゝありと云ふ

●總督の學校巡視

寺內總督は二十六日午前八時十分南山官邸出門民團立高等女學校、日の出町小學校を巡視し例に依りて職員及生徒に訓示をなしたり

●鑛業所と煉炭製造

平壤鑛業所の擴張工事は一昨年より昨年に至る織續事業として十五萬圓、昨年より能仁郡[illegible]

●京畿管內の農況

既報以外に其筋に達したる報告によれば麥作は平年に比し二割昨年に比し[illegible]

●右近氏と朝鮮事業

大阪にて屈指の豪商右近權右衛門氏は朝鮮に於ける事業經營の國家進運に資することを大なるを念ひ數年前より半島富源の開發に着眼し第一着手として二十萬圓の資金を投じ成鏡北道淸津港に市街地經營をなす、共に北鮮の交通を開き地方產業の發達を促さんが爲めに同地方在留內地人に說き電氣事業を起し其大部分の資本を提供しけるを以て淸津附近一帶の在住者皆右近氏を德とせざるなく淸津港の如きは尤も右近氏の爲めに繁華を增したるの觀あるが氏は之に甘んぜず殖民の根本策は農業にありとなし昨年來黃海、京畿、全羅、慶尙の各道に亘りて耕地を買收しその約七十萬圓に上り此所は鮮人は素より移住內地人に貸付し低廉なる小作料を納めしめ專ら小作者の成功を助けて居る旣に普通資本家の自己の利益一方に趨るものと大に趣を異にし可及的公共を益する方法を立て着々好成績を收めをるのみならず仁川埋築地に七萬餘圓を投資し全羅南道木浦沖にある荷衣島に十數万圓を投資して其地の繁榮に資する等一箇人として此如數百萬の投資を敢て辭せざるに至りしものは一に右近家支配人藤原讓市氏が夙に朝鮮の有望なるに着眼し親しく半島各地を跋涉し調査せる結果右近氏に獻策せしに因る而して支配人藤原氏は右近家の一小丁稚より多年の功を積み今日の地位を得しものにて現今右近氏をして朝鮮に一大勢力を扶植せしめし手腕に徵しても其堅忍不拔の人なるを知るべし

●商議課金と撰擧權

京城商業會議所の四十三年度課金及び四十四年度第一期分の課金の未納者は來る本月二十九日迄に納付すべしと若同期日迄に納付せざるときは商會議員撰擧權を停止ある事となるべし

●特許辯護士會

總督官より役員の撰擧を爲し報告すべき旨通告によりて開會員は去る廿四日午後四時京城南大門通り三丁目同會本部に集合役員の撰擧を行ひしに岩谷恭夫氏を會長に小川勝平、北島靜氏を幹事に滿場一致を以て推撰し即日其筋に届出の手續を履行せりと云ふ

●岡正爽氏招待會

二十七日午後六時より京城ホテルに於て日韓瓦斯會社支配人岡正爽氏を招待し同氏の舊友及知人等相會し小宴を開くとの事にて發起者は可成多數の出席を希望しをれり

●各道長官の入京

別項記載の如く各道長官會議は來る七月一日より開會さるゝに付咸鏡北道長官武井友貞氏成鏡南道長官申應熙氏共に前日入京し其他の各長官も追々入京す可しと云ふ

●本多博士の來鮮

東京帝國大學教授林學博士本多靜六氏は今回朝鮮の森林事情等調査のため來る七月一日東京發直行來鮮の筈なるが約一ヶ月の豫定にて京釜京義沿線及鴨綠江方面を視察すべしと云ふ

●ヴァンペテン夫人旅程

傳道視察の目的にて目下入京中のヴァンペテン夫人は二十六日夜旭町日本メソヂスト教會の歡迎會に臨み二十七日より往復十日間の豫定にて平壤に赴きそれより鎭南浦、公州、開城等各方面に傳道狀況を視察し再び入京の上日本メソヂスト教會の婦人會にて數回の特別集會を催ふす筈にて木原部長は同夫人の旅行に同伴すべしと

●京城監獄の工事

京城監獄の工事は既に敷地の買收も了りたるも手續に尙未了の點あるを以て工事を入札に附する迄には多少の時日を要すべしと而して工事竣成は明年度の豫定にて豫算の關係上工事費を多額の計上はなしとするも設計に於ては內地の各監獄等を參照し其尤も新式のものを撰びたるものなりと云ふ

●不渡手形出づ

永樂町三丁目貿易商西村由次郎振出し十八銀行京城支店當座小切手金額九十圓は預金不足の爲二十六日不渡となれり手形交換所設置以來不渡手形を出せしは之を嚆矢とす

公人私人

▲服部米次郎（公州憲兵隊長中佐） 二十五日浦尾へ投宿
▲寺平宮吉（春川憲兵隊長少佐） 同上
▲三根昇一（大邱憲兵隊長少佐） 同上
▲末松吉次（義州憲兵隊副官中尉） 同上
山本へ投宿
▲藤村忠助（新聞記者） 同巴城ホテルへ
▲安武千代吉（辯護士） 同不如火投宿
▲岡本太郎（代議士） 二十五日釜山行
▲柴田家門（拓殖局總裁） 同上
▲立花俊吉（秘書官） 同上

釜山より

山水還人

六月廿四日

水浪兄足下。日本より遠來の珍客として釜山の客と相成申候。本夕忽として港頭に迎へ可く候。湖都の人心沈滯萎靡せる雨期の都。惰氣の京城を脫して長驅百里。車窓に還る蒼々たる仲夏の野趣を擲して氣宇轉た爽然たるを覺え申候。足袋のハゼを破るべく一つで濟まし度い程の無性者をば、遠路釜山まで呼び出す程の人。そもや誰。芳紀正に六十のお爺さんどれ姐さん。

固是余が忘年の友。明朝相携へて車中湖南の風光を賞し。山河の往事を語つては老ひたる友の微笑を買はんとす。兎角浮世は我も人も面白ふ暮し度きものに候。

▲韓銀貨幣發行高週報

發行平均高	二一、七一五、一二九
內 正貨準備	七、八二三、五七二
保證準備	一三、八九二、五五七

▲京城手形交換高▼

月日	金高	枚數
六月十六日	一九八三九五、九一〇	五一七

仁川港出入船舶

信濃川丸 二十七日大阪より入港
城津丸 同 長崎より入港
三笠丸 同 芝罘より入港
蒼龍丸 同 芝罘へ向出港
城津丸 同 安東縣へ向出港
信濃川丸 同 大阪へ向出港

內地巡禮日記（三）

水浪生

廿一日午後湊川神社の參拜を了ゐ、下關急行に乘つて宮島に向ふ、同乘の客に越前永平寺住職にして曹洞宗の管長森田悟由師があつた、師は侍僧を伴ひ長侍僧とは云へ、實は何れも立派な高僧であり四人を連れ大連へ向け巡錫の途にあるのであつた、滿車の各驛に着する多くの善男善女は何れも珠數を携へ唱名を口にしつつ悟由師を迎へた、之に對して師は身親ら一々窓口に現はれ懇に挨拶するのであつた、余隣席にありし故を以て悟由師ど語を交ゆるの機會を得た、師の曰く自分は今年八十八歲だが稀有にはた見受の通り體は大丈夫だ、今度大連よりの招ぎに應じ、同地へ行くことにしたのも、實は大隈伯の百二十五歲說に激勵されたのである、人間百二十五歲迄生きるものとすれば八十八歲位はホンノ青年であつて、自ら年寄り振つて自分の寺に閑居して居るなどは勿体無い事だと感じたからだ、見なさい大隈さんはアノ一本足でもつて現在大阪に來て盛夜活動して居られるではないか、されば自分の如き二本の揃つた足を持つてる者は假令[illegible]

▲治外法權▼

二十四日頃の朝鮮教育會總集會は中々盛んであつた、鋭敏な關屋と溫厚な小杉とが兩々相俟つて盡力の結果該教育會が益々盛を加ふるのは結構の事だ▲只惜らくは該會は名を朝鮮教育會と云ふと雖も實は今日に於ても矢張り京城だけの教育會だ、該屋會長たるもの須らく自分の膽に鑑むべしだ▲教育會に於ける宇佐美內務部長官の講演、其言々句々莊重にして聽くに値せりだ、殊に學校教育の目的は教育勅語の人を作るにありと道破したるは中々の識見であつた▲ト褒めて居ると上手の手からも水が洩る、宇佐美は講演中に余蓄から云へば途方もない馬鹿を云つた▲馬鹿とは何ぞ、彼れ曰く今後の在鮮內地人は朝鮮人に對してプリドミナントパワー（優越權）を持つことに努めねばならぬと、アー內務行政に長たる彼れにしてコンナ時代後れを云ふ、總督の鮮人同化論とは全く逆行であるのだ▲石田視學官の自然と教育なる講演、其前提と結論とが木に竹的なりしは滑稽であつた彼れの說に從へば乾きたる禿山の朝鮮は大英雄を產出して四方を征服すべき筈だ、事實は然らず人を教へんとする石田は先づ自らを教ゆべしだ▲十八銀行宛振出しの西村某の小切手が手形交換所で不渡になつて、首切となつた、今后銀行者は其取引者をヨク精撰すべしだ。

海外消息

奉天、錦州、奉天、本溪湖、朝陽鎭、新民府各地方は二十五日頃より雨なし乾燥のため[illegible]

●麻浦の監獄工事

麻浦に新設せらる[illegible]

●不正會社解散

京城北部皇華坊小貞洞所在朝鮮牛馬買賣合資會社は鮮人九名內地人一名の合資に成り會社令並商法の規定によりて許可を受けしものなるが實際に於て牛馬買賣を成し居らず世間に牛馬買賣仲介業者の間に介在して居て手數料を徵收する等公の秩序を紊亂し害毒を流すこと少なからざるを以て此程會社令によつて斷然解散を命ぜられたり

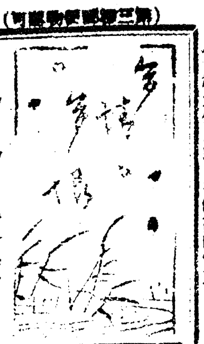
●仁川商議選擧結果 二十六日仁川商業會議所に於て執行せられし商會議員選擧結果左の如し
(三級)高倉伊平、八田藤三郎、力武清八、桂木伊之助、補缺高田富三郎、(二級)竹田津三平、奥田貞次郎、補缺奥田貞二郎、補缺次點鳶玉岩吉、(一級)大阪商船會社仁川支店、韓國銀行仁川支店、百三十銀行仁川支店、漢城共同倉庫會社仁川支店

●相場電報（廿五日）
▲鐘紡 寄付 引け ▲東株 寄付 引け ▲東新 寄付 引け
▲大阪 寄付 引け ▲東株 寄付 引け ▲大株 寄付 引け ▲同直 取引

●仁川米取引所
●六月限 十圓八十錢▲最高十圓九十五錢▲最低十一圓三十七錢▲止十圓四十七錢
●大坂期米電報
●六月限 十七圓二十六錢▲止十七圓二十八錢▲七月限 十七圓四十七錢▲止十七圓三十錢▲止不明▲八月限 十七圓五十八錢▲止十七圓五十九錢▲止十七圓五十五錢

▲京城南驛の貨客
▲南大門驛乘降客(廿五日分) 乘車客 三八一 降車客 五二〇
▲南大門驛荷扱高(廿五日分) 發送貨物 二六一 到着 八五
▲龍山驛乘降客(廿五日分) 乘車賃金 一〇五
▲龍山驛荷扱高(廿五日分) 發送 到着 一六九

温陽温泉



京城藝妓の半生（四四）
菊家文之助（五）

其の夜は八日目の關に隔てられて眠にもの云はせて別れて歸つた文之助直れて茲に十七年踏みぞ入りたる戀の山、嬉しい昔尽した後朝の殘り惜しい別れ路に寄した涙の頬に流れて冷たさに我を返れば獨り寢のピツシヨリ濡れた枕紙、覺めて口惜しい夢の跡、今の念が先方に届いて斯うもなつたら彼して出來ぬ內からする苦勞に出る溜息をつく〳〵と案じ明した翌くる日の晝過ぐる頃受け取つたのが其の人の玉章、此度の日曜に逢はう、と云ふ夢を誠の嬉しい文句、恰度其の日は木曜日、來る約束の日曜を千秋の思ひで待つた時刻も來た、れ互ひの身の上話しから幾千代かけて變るまいと深い契りを結んで見ると何分敵手は陸軍將校末は其の人の女房になる自身が前述の通りの學校嫌ひであつた爲め漢語交り和文混りに話される言葉が聞き取れないでは濟まないと思ふと矢も楯も堪らなく悲しくなつて幼少い時の嫌職時代を懺悔して暇さへあつたら勉強しますから勉強しろ逢ふ瀬は重なる、遂に文之助は男の胤を宿してか見るものを見ざる事四ケ月餘なりしが斯う成つても何ほ全く幼な心の脫けない彼れは自轉車にも乘れば山へも登ると云ふ調子であつた爲め五ケ月目に流產した夫れが酷く身体に障つて餘病を併發して病床に親しむこととなつたが養生の結果生命は取り止めた、文之助の十九の五月高山は大尉に昇進した、其の年の暮高山に結婚問題が起つたが高山は文之助との約束があるので四の五の云つて聞き入れぬ其の事情を知つて居る大尉の友人は入れ換り立ち代り文之助に手を切つて吳れと頼みに來るので遂に男の爲めならばと意を決して丈なす黑髮をプツツリ切つて今迄の緣は之限りと奉書紙に包んで高山さんに渡して下さいとれ友達に托して自分は直ぐに廢業屆を出して伊勢今治の自宅に歸つたが翌る二十歲の二月、時恰かも日露戰爭が初まると云ふて世の中が騷がしかつたのに感ずる所あつて彼れは看護婦志願の念を起し代議士の藤井と云ふ人に頼んで、大阪病院に世話して貰つたが當時篤志看護婦は志願者が多いので滿員と云ふ始末にハタと當惑したのであつた然るに或る人から看護婦として世に立つには產科の方が何かと便宜が多いからと勸められたので田を行くも畦を行くも同じ事と遂に其の方へ住み込んで月給五圓を支給せられる身と成つて最初の間は診斷の受付やら電話掛りやら郵便物配付やらを爲せられて却々苦勞なものであつたが眞面目に働くからして誰れ一人彼れ文之助を藝妓生活をして來たものとは知る人無く朋輩は岡田さんは何故斷髮したのだらうかと不審する先生方は又先生方で何うした理由かと問ふ事もあつた相だが彼れは只少々事情が御座いましてとのみ答へた居たのであつた。

●待合春日主人の公判

既報待合春日主人福岡縣人橋本寨吉（三）の傷害罪事件は二十六日京城地方裁判所刑事部法廷に於て堀判事裁判長となり鎌田原爾陪席南角檢事立會公判開廷せられ被告辯護人として皆川辯護士出廷す被告は被害者從前屢々不貞の行爲あり、一際阿部某立會の下に再び不都合ありし時は髮を斷りても差閊なき口約ありしを以て其の承諾を得て切り掛りし際負傷せしめし旨申立て事實の審問證據調終り兩角檢事は本件は事件どしては簡單にして加害者被害者が普通人なりしならば色情關係より起りたる傷害犯にて罰金刑に過ぎざるも本職は遺憾作ら被告寨吉を罰金刑にて濟す能はず被告は前科四犯の曲物にて原籍地に於ける身元調の回答書地に於ける素行も甚だ不良にして操て賭博を働く無類にして殊に被害者たる松島ことど聞樣當時明治町居住某民團議員ことどが色情關係ありしを寄貨とし金千圓を絞り上げたる事實あり該問題は辯護人も議員同士の事故知られるならん被告は被害者の承諾を得て髮毛を切りし如く申立るも被害者及關係者の取調に因り虛僞の申立てなる事明白なり被告は恰も改悛の狀ある如く見ゆるも畢竟判官の同情を求め刑を輕くする爲めの惡策に過ぎず又被告の家庭に付て逃ぶに本妻の外に妾二人迄わりて妾には高淫を爲させ幾多の男より不當の金錢を絞り本妻は貞操を守り居り差入を爲或は辯護人を雇ふ等感心なる行爲を爲し居るに被告は本妻の知らぬ間に二年前離緣の如くして籍を拔き居る事判明せしが本妻は本日迄知らずして親切に夫に盡し居る位なりかゝる不都合の被告にして要するに被告者松島こと外遊皮が剝け殊に東京地方にて賣淫に從事せし莫連女にて頗る辣腕家なるより再び引入れ某民團議員より千圓を絞りとげたる例に因りて目屆りの下りたる男ありしならば再び絞らす目的に出でかるものなれば懲役八月を求刑す云々との論告ありて辯護人は無罪を主張し次回開廷日に宣告す可しとて閉廷したり

●銀行內部の紊亂

△本支店行員全部橫領犯

六月初旬より永樂町三丁目二十七番戶立田喜三郎方に營業視察の爲めと稱し同居せる靜岡縣濱名郡濱松町高須要吉（二三）愛知縣名古屋市東區筒井町酒井一郎（二〇）と稱する二名の靑年の擧動不審なりと認めたる南部署長野佐藤岸川副の四刑事は注意し一方原籍地に身元照會爲せしに類似の名はあるも現に原籍地に於て實業に從事し居る旨回答に接し愈々不審を懷き本署に同行を求め取調べたるに何れも僞名にして實は靜岡縣岩田郡見付町大字泊大村竹三郎（一八）愛知縣豐橋市曲尺牛町磯部賢助（一八）にして何れも豐橋市曲尺手町なる山內銀行支店々員にして大村は昨年六月より本年二月迄の間に於て帳簿を胡麻化して行金二千九十圓を橫領し昨年八月より同地一等料理店大吉樓藝妓小燕を敵妓に千五百餘圓を費消し金二百三十圓にて落籍し磯部は千二百餘圓を橫領し數ケ所に於て費消し本年五月事の發覺を恐れ逃走せし者なりと因に彼等の申立に因ると該銀行本支店共目下紊亂して行員全部橫領罪を犯し居れりと

●主家に放火す

二十四日午後九時三十分南大門外御成町十三番戶鑛紗商村上嘉四郎方便所より發火せしも大事に至らずして鎭火し格別の損害もなかりしが發火の原因の取調べの爲め臨檢したる警官は同家の下女みやの擧動不審なるより本署に引致し司法主任濱野警部之れを取調しが同人は福岡縣門司市新町五丁目川口要七長女みや（二七）にして最初は發狂者を裝ひナカ〳〵手に合はざりしが濱野警部苦心の末漸く自白せしめし處に依れば被告は郷里に於て二十三歲の折り某會社員藤本辰吉の妻となり四ケ年間連れ添ひしに昨年十二月夫に情婦が出來て離別して本年五月中旬渡鮮し本月十日木村方に住込みしものにして犯罪の動機は二十三日午後十時頃少々不快の爲め假寢を爲し居りたるを內儀が見付け雇人の身分にて假寢するとは不都合なりと足にて蹴りしとかに其の怨を晴さん爲め裏の塵箱に石油をかけ火を放ちしものなりと

●東京大相撲渡來期

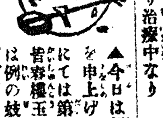
既記の如く新橫綱太刀山及び國見山一行の渡來期は未だ確定せざるも不日先發年寄連乘込み當地世話人等と打合せ濟み次第東京出發すべく取締友綱よりの來信に見ねたり番附面は既報の通りなるが東方玉の川小野ケ崎勝田嶽、西方大崎太刀の音加勝山の各三枚は幕下十兩格たるべく本日到着の番附面に見ゆ

●軍艦日進と郵便物

鎭海灣碇泊中なりし軍艦日進宛郵便物は左記の通り發送さるべく第二艦隊後任司令部より關係各部宛通知ありたり
六月廿六日迄に到着見送のものは（馬山郵便局氣付）七月三日頃迄に到着見込のものは（佐世保へ）其後は（馬山郵便局氣付）

●龍山に赤痢病

龍山元町朝鮮人金三俊外一名及び櫻田町小野末吉外一名は何れも去る十九日より赤痢病に罹り治療中なり



▲今日は新町遊廓の噂を申上げます▲同遊廓にては第一樓が筆頭に皆春樓玉家鑑鶴樓等には例の妓夫太郎を置いて居るが夫れが通行人を追ひ回して登樓を勸誘する其の行爲が取締規則に違犯するのみならず他の營業を妨害するものとして他樓主聯合して故障を申込み其筋にても弊害あり且つ取締規則に犯する行爲ありと云ふので本月限り妓夫の解雇を促して居る相だ▲出來るものなら妓夫とかヤリテとかは全然廢したいものだ彼れ等は彼れ等に謂れなき收入を多からしめざる娼妓には共謀して客を回さぬ如にする、だから此の意地惡るに堪らずして娼妓は客に一仲どんに遣つて頂戴、ねえさんにもね」と氣の毒と知りつゝ遣つて頂戴して其の虐待より遁れんと企てる、仲居は至慶することと難かしからんも妓夫は全く廢し度きものなり此の數を増すは吉原や洲崎の如に集つて群がるが廓の合を多くすると山なれば▲前便に申しました井門本店の權勵愈々淸水席より離り出づる由なり藝名は丸〇好からうなぞと云つて居ますが寧ろ思ひ切つて阿古屋とさんせアーコヤ〳〵と藝妓らしからう▲皆春樓の小町は高女校の卒業生なるが誠に溫和い悧巧者、長くア、云ふ稼業をさせるは可愛い相だ、身受を仕てやるかの金が無い、誰か少し落さぬかナアと嘆息して居る人が澤山ある▲井門支店の壽美枝富士枝は新妓に對して客の取扱方から遊藝文學等を詰込んで居りますが此の壽さでは懲りはしまいか▲大桝屋の世渡は大砲大盃以來客が落ちたと三味手を怨んで居るとかだが夫りやれ前心得違ゑだぜ、ヨー、怨むなら仲居と樓主を怨めよ、胸に思ひ當る事があらうが▲淸月の鹿の子、名は甘さうだが甘からず數でコナして居る所傑いぞ〳〵▲日曜の大茶つッピイ月曜女郞中の新地へ巢替へ仕つて以來同樓は善い事斗り續いて居るとかなりとは扱も芽出度かりけるご次第なり（風聞子）

●擴張傳道演說會

日本組合基督敎會の當地傳道演說會日割、講題及び演題等左の如し
●大演說會（六月二十七日(火)午後八時歌舞伎座）人生と宗敎（長田牧師）忠孝と基督敎（海老名牧師）
●說敎會（自六月二十八日至七月二日南大門內相生町京城基督敎會▲六月二十八日(水)午後八時 靈性の要求（長田牧師）天父の愛（海老名牧師）▲六月二十九日(木)午後八時 生活の內容（渡瀨牧師）何ぞ基督に來らざる（海老名牧師）▲六月三十日(金)午後八時 神子としての耶蘇（渡瀨牧師）基督敎の根本眞理（海老名牧師）▲七月一日(土)午後八時 信仰の成長（長田牧師）敎會の使命（海老名牧師）●婦人會 六月二十八日(水)午前十時京城基督敎會 女性の天職（長田牧師）女性の福音（海老名牧師）

●演藝だより

●壽座 日を追ふて益々大入り人氣なる片岡松之助一座二十七日の替り狂言は前、鎌倉三代記、北條時政館の場より三浦の助別れの場まで中「俠客三日月治郞吉」にして三日月騷ぎの場より酒井若狹庭園治郎吉切腹の場迄十一場切り狂言は歌舞伎十八番の內勸進帳にて之れには京城藝妓十餘名の出離子ありと云へば此れこそ實に當夜の見物聽き物なるべし重なる役割は左の如し
三日月治郞吉（松之助）時姬、女房れきく（右衛門）三浦夕助、小寺源二（飛雀）富田六郞、酒井若狹、寅樫左衛門（丹太郞）佐々木高綱、白須賀齋、武藏坊辨慶（嵐山）不破山彥五郞、古澤檢校（松十郞）女房れくゐ、白須甲斐、妻靜江 右內匠 田原大角、母れくら（綠郞）逸水一平、兼井六郞（松幸）北條時政、母れよし、常陸坊（幾十郞）番卒飄六（呂昇）さぬき局 妾れ玉 駿河二郞（保）用人三太夫、片岡八郞（松助）
●浪花館 合併浪花會廿七日の演し物は寶の入船（枝輔）汽船（枝め吉）紙屑撰（枝三郞）宿屋仇討（三圓）高砂や（芝鶴）筑前琵琶常陸丸（駒淵）懸ざり（細圓）厩火事（柳丈）香曲（ヴヨンペール）

●懺悔の自白（九）

金波投

折角ないしよで儲けたれ金は川林のために巻揚られしかおさん〳〵ぶちてうちやく非道い目に逢はされても相手は亭主で自分の不心得から起つたことだから誰を怨むわけにもゆかず布團をひつかぶつて泣くらしたの御飯もたべずに其夜はどう〳〵歸らずじまい翌く朝になつて頭が重くつて仕方がないからねきずにやすんで居ると十時頃にぶらりと歸つて來た時は大部醉て居たが恐しい顏で妾を横目にかけて一言も詞はなく押入をあけて妾のいゝきもの斗りはいつている柳行李の葢をとつてめぼしいものをより出して大きな風呂敷へ包んで居るのを妾は膽を潰して思はずはね起て男にすがりついてあなた何をなさるのとふるへ聲で云ふといきなり妾の橫顏を一ッぴしやりと荒ぎもをひしいでれいていきの位はなんだてめへの命があるのを有難く思へこれから福原のいゝ妓の處へ持て行て着せてよろこばせるのだてめへは布團へくるまつて留守番をして居ろといふのさ口惜しいやら腹がたつやらもう半分逆上あがつて男の袖にすがつて夫はあんまりあなた非道いではありませんかと泣て拒ひのをエ、やかましいやづ〳〵云ふと踏み殺すぞと三ッ四ッなぐつた上にさん〳〵蹴り飛ばされて妾の身体はいたひもうとりつく元氣もなく泣倒れて居た

滊車時間

●諸公債諸株券
現物賣買
迅速確實に御取扱可申候兼業
既製洋服卸小賣　諸官衙御用達
京城本町三丁目
大阪野村商店代理店
田中友吉商店
電話九九三　振替(タ)

最上醤油
金牌　商標
山十印
釀造元　千葉縣銚子町　岩崎重次郎
發賣元　京城本町壹丁目　三巳商會
電話七五三番

磨擦白米
龍山精米所
京城米倉町
電話一二四〇番

弦齋流割烹
す津あ
南山町一丁目
電話千五百二番

最上醤油
釀造元
仁川萬石町
高杉醤油釀造所
電話七六五番

神易活斷
京城旭町一丁目
(萬千閣の下)
山の內

會員募集
家庭料理講義
(六ヶ月卒業)
▲顧問　大隈伯爵閣下　楠本男爵閣下
▲會長　伯爵夫人　板垣絹子
▼入會金免除
本會則無代進呈
科目
日本料理●西洋料理●那料理●即席料理●晩酌料理
惣菜料理●每日料理●辨當料理●すしの拵方●漬物法
和洋菓子製法●食物學●禮法●家政學●涼しそうな料理
東京芝區白金台町
東京割烹講習會
振替口座一九四一〇番

世界中苟も音樂に嗜好を有する人士の家庭に於ける唯一の良機
一臺の蓄音機を家庭に備ふれば國歌樂隊オーケストを初めとし薩摩琵琶謠曲琴三味線義太夫長唄其他一切の俗曲流行節等に至る迄名士の妙音美聲の原音を直接聽くの感あり
蓄音機は諸君の欲するが儘に愛賞する音樂を幾回なりとも繰返して奏演せしむる事を得るなり
ヴ井クター會社
日本蓄音器商會
製蓄音機械音譜各種荷着發賣
何品に不限御便利買次仕候間定價表々音譜目錄御一報次第進呈仕候
東京竹內製金庫東京堀井謄寫版
喞筒及び消火器特許品文房具類
京城本町一丁目
熊平支店
電話六二四番・振替口座京城貳貳番



牛馬犬猫
治療所
入院隨意
京城明治町三丁目
小川家畜醫院
院長　小川龜太郎
(電話四二七番)

牛乳の大王
朝鮮總督府醫院特定御用
京城大和町一丁目
平山牧場
電話一一三三番

新築落成御披露
今春以來新築に着手致し候大廣間及清洒なる多數の客座敷は漸く落成致且つ庭園は東京に於て其技を鳴らせし永樂園主立見氏の手に悉皆改造せられ涼風自から起るの趣有之候加之料理は夏季の衛生に尤も注意致し蔵事刷新大勉強仕候間何卒多數の御宴會且つは涼みかての御晩酌是非御來臨を賜らん事を奉冀上候
京城永樂町二丁目
酒道樂
電話一二七六番

代理店
京城南大門通三丁目
新井藥房
電話九百四番●千六十八番
振替口座京城十六番

二十世紀之新
最良新藥

每月丸
▲月經をつうじ
子宮病を全治す
月經不順
月經閉止三四ヶ月の滯りを通じ其他月經不順より起る子宮病血の道、頭痛、食物進まず、氣分鬱ぎ、逆上強く等の病を根治し、血のめぐりを能くす●
●一日入錢半週分廿五錢一週五十錢
●二週分壹圓三週分壹圓四十錢
常に月經不順勝ある人持藥とせば治血を下し子宮病に罹る憂ひ更になき良藥
▲本舗　大阪心齋橋二丁目丹平商會
支店　東京日本橋區　丹平商會支店
賣捌　は東京市內其他各店に取次す

●貸金
有給者には極秘密に低利融通可申候
京城旭町二ノ一　別府向小路
高橋

代理店
京城南大門通三丁目
新井藥房
振替口座京城十六番
電話一〇六八番九四〇番

登錄商標
大阪市東區伏見町
堺筋角
本舖　谷回春堂
(電話東四五八番)
(振替貯金番號八三〇)

くだりびょう一切の特効藥
健胃固腸丸
●主治
●赤痢病●コレラ病●腸胃加答兒等に用ひて實効速なり
●常に時々一粒を朝夕五粒ヅヽ服用せバ腸胃の衰弱を治し食物の消化を解くす
藥價　貳十粒入五錢　四十五粒入拾錢　百粒入貳十錢　三百粒入五十錢　六百粒入壹圓
本劑ハ全國到る所の賣藥店ニ取次販賣せり

朝鮮名產
鶴乃箸
○鶴の骨細工種々
○鶴の羽細工種々
○朝鮮土產品種々
京城本町三丁目
製造發賣元
海市商會
電話二二五〇　振替朝鮮四八
特約發賣元
京城本町四丁目
日之出商行
(電話九五六)
特約發賣元
京城本町六丁目
西崎本店
(電話二一〇)

專賣局販賣品
土耳古　紙巻莨金口
SKS
エスケーエス
特約販賣店
京城辻屋　龍山曹田　木浦沖永　馬山西川　公州中芝
平壤昌洋行　鎮南浦宇津木

京城本町二丁目百三十銀行橫
野田齒科專門醫院
電話一〇四七番

文房具
洋紙
和紙
シノザキ本店
日本政府檢定濟
度量衡器特許輸入販賣所
京城本町一丁目
(郵便局前)
電話七百五番
電話長六四八番
振替口座朝鮮一五四番

諸公債株券現物並に米穀賣買
仁川米等極めて速迅確實に取扱ひ可申候間多少に不拘御用命上候
京城古市町四十番戶(南大門停車場前)
米穀並ニ有價證券問屋
(電話二二九八番)
主任　柴山國太郎
柴山組
日々相場高低ハ御一報次第電話及日報ヲ以テ御知ラセ致シ升

義齒術全般
京城南山町二丁目(伊藤組南に入る)
小倉三郎
電話

資本金五百萬圓
神戶海上運送火災保險株式會社
出張所
京城明治町一丁目
(電話一五四九)

李王職御用
總督府御用
帝國馬車商會
高等貸馬車開始廣告
本店　東京市麹町區內山下町帝國ホテル構內出張所
同新橋停車場構內
當地營業所
京城兕町一番戶(鐘路警察前)
(中部仁平坊會與洞第八區第卅號)
高等馬車製造業
電話一四三五番
今般當商會に於て東京に流行しつゝある馬車の方式を以て貴紳顯女御乘用高等貸馬車開始仕候條何卒御試乘の上陸續御用命仰付有之度此段得貴意候也尚何時にても御用の節は電話にて御一報被下候へば早速出車可仕候

朝鮮牛種及牛乳改良元祖
消毒純良
高等牛乳
當場飼畜の乳牛は悉くエーアシャ、ゼルシ、ホルスタイーンの最も優逸なる洋牛而已なるが故搾取する所の牛乳は極めて純良無比なり
當場畜舍及殺菌室等其他一切の設備の完全なる他に比類なし
當場には種畜牛數頭飼養致候間種付御希望の方は御申込被下度候
當場には御通物用牛乳切手發賣致候
其他牧畜に關する一切の事務は叮嚀懇切に取扱可申候間御用命之程希上候
京城南大門外
荒井牧場
(電話一〇五六番)
龍山本町三丁目
龍山販賣所
(電話二〇二番)

紙と印刷
諸紙
和洋帳簿
印刷
各種製本
諸官衙御用
播本商店
京城本町六丁目
電話百拾番

M.C.C.
土耳古　紙巻莨
エムシーシー
專賣局の定價は百本に付金五圓貳拾錢なるも朝鮮內は大安賣
京城、平壤龜屋一釜山、木浦、群山高瀨支店

●新荷着
酒精アルコール
仁川花町一丁目(電話六五〇番)(電略サ)
坂倉支店

陸軍指定旅館
鐵道院指定旅館
仁川水產組合指定旅館
各保險會社指定旅館
弊館には夜警の設備有り
御客樣の安全此の上なし
仁川海岸
旭屋旅館
電話二五一

株式會社
十八銀行支店
京城黃金町(銅峴)
電話四二〇番　五八〇番
銀行一般の業務精々御便利に取扱申候
○本店　長崎市
○日本、朝鮮の各樞要地並に靑島浦鹽、濟國安東縣、大連に支店、出張所又は爲替取引先有之候
○株式會社長崎貯蓄銀行京城代理店として貯蓄預金取扱申候
◎貯蓄預金
○元金百圓に付日步一錢二厘
○一口一錢以上何程にても御預り申候
貯蓄預金受拂共精々御便利に取扱申候